

舞鶴市近代化遺産 保存センターNEWS

第3号 令和8年7月号
(毎月15日発行)

近代化遺産とは

幕末から第二次世界大戦期までに、当時の最新技術でつくられた、日本の近代化に貢献した建物やインフラなどの遺産です。近代化遺産保存センターでは、私たちのまち舞鶴の礎を築いたこれらの近代化遺産を大切に次世代に継承していきたいと考えています。

れんがを焼いた

「ホフマン窯」を

見に行こう

今月の『近代化遺産保存センターNEWS』は、6月20日(土曜日)に開催いたしました「神崎煉瓦ホフマン式輪窯」見学講座の模様をお届けします。本講座は(公財)舞鶴文化教育財団のご協力の元開催し、多数の方にお申込をいただきました。ご協力・ご参加くださった皆様ありがとうございました。当日講座に参加できなかった方も、当日の熱気を感じていただければ幸いです。

神 崎のホフマン窯は、明治時代に「登り窯」として建てられた後、より効率的なれんがの大量生産を目指して大正時代に「ホフマン式」へと改修された歴史を持ちます。当日はツタに覆われた大煙突側から歩き始め、窯の外側上部に並ぶ投炭口や、規則的に並ぶ11本の小煙突をご覧ください。



ホフマン窯は高さ約3mで、上から見るとカドの丸い長方形(長円形)をしています。その大きさは長径約4.5m、短径約9m。窯の内部はアーチ状です。完成したれんがは船を使って運ばれたといわれています。

まさに「れんがのふるさと」な近代化遺産、必見です(見学には事前予約が必要です)。

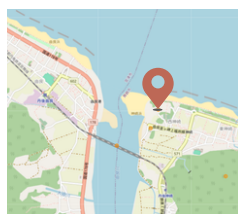
見に行くなら?

神崎煉瓦

ホフマン式輪窯

舞鶴市字神崎918

見学には事前申し込みが必要です。舞鶴文化教育財団(0773-6210577)へお問い合わせください。



「舞鶴の近代化遺産」

連続講座レポート

神崎煉瓦ホフマン式輪窯

かんざき

れんが

りんよう

おまけの3択クイズ

ホフマン窯では1日当たり何個ぐらいのれんがを生産していたのでしょうか?

- ①100個 ②500個 ③1,000個

正解(さかさまにしてお読み下さい)

°ふと回000°1の©れんが

舞鶴赤れんがパークには明治時代から大正時代に旧海軍が建てたれんが造りの倉庫8棟が残り、国の重要文化財に指定されています。舞鶴市では令和7年度から貴重な近代化遺産を将来に大切に受け継いでいくため、6号棟の保存修理工事に着手しました。

重要文化財を未来に引き継ぐ

赤れんが 6号棟

保存修理工事のこと

6・7・8号棟の前には味のある
赤れんがロードがありますよね。

あれも文化財なんですか？あと、工事後は
どうなりますか？

大切な文化財です。工事で傷つけないように対策
しています。工事後もこの景観を守ります。

★赤れんがロード

明治時代につくられたれんがと石敷きの運搬
通路。「赤れんがロード」と呼ばれています。
まるで明治時代にタイムスリップしたような
景観で、数々のロケも行われています。
明治時代には、荷物を乗せた大八車が行き交
ったことでしょう。



赤れんがロード



映画の撮影風景



(左) 赤れんがロードに砂を敷いて保護



(右) 鉄板を敷き終えた様子

おまけ・6号棟 ○×クイズ

赤れんが1号棟(赤れんが博物館)の
正式名称は

まいづる かいぐん へいきしょう
舞鶴海軍兵器廠
ぎょけい すいらいこ
魚型水雷庫

であるが、

現在修理中の赤れんが6号棟の
正式名称は

まいづる かいぐん じゅひんこ じゅひんこ
舞鶴海軍需品庫需品庫 である。

○か×か？

正解 (さかさまにしてお読み下さい)

見えてるものが正式名称です(次号に続きます) 正解はさかさまに読んでください

当センターメディア出演情報

KBS京都ラジオ
「さらピン！キョウト」に
当センターが出演しました

KBSラジオ「京都ふるさと元気大賞」の舞鶴市特集の一環として、6月25日(木曜日)に当センターも出演いたしました。番組内では舞鶴の近代化遺産のこと、連続講座のことなど、凝縮してお届けいたしました。関係者&リスナーの皆様、ありがとうございました！

今月の「近代化遺産センターNEWS」はいかがでしたか？
ぜひQRコードから、あなたの「知りたい」や「見たい」を
お聞かせください。舞鶴市近代化遺産保存センター TEL: 0773-68-9236
kindaikaisan@city.maizuru.jp

